

# 藤波こども園

令和5年度 園長だより No.3

令和5年6月2日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

## 10年後、20年後 充実した日々を過ごせるように

5月19日(金)、PTA講演会に佛教大学副学長の原清治先生をお招きし、「幼児期の今、大切なこと ～これからの社会を生きていくために必要な力を育てる～」と題して講演いただきました。毎日を楽しく、元気に過ごしている子どもたちが思春期を迎え、そして成人したときに生き生きと充実した日々を過ごせるために、今、私たち大人がすべきことのヒントをいただいたように思います。



90分間の講演でしたが、終始ユーモアを交え、大学の先生とは思えない気さくな話し方で楽しくお話いただきました。

幼児期に育てたい力  
『非認知的能力』  
そのためには『褒める』  
そして『自尊心を高める』

『非認知的能力(意欲や自制心、協調性など)』を幼児期で育てることの大切さを話されていました。そのためには『褒める』ことが大切であり、『褒める』ことによって『自尊心が育つ』と話されました。

以下、参加された方の感想の一部です。

非認知的能力を初めて知りました。最近、何が大切なのかと考えていたところですが、「これや」と気づきました。

今、自分が子どもに対して接していることを、一度きちんと見直す、立ち止まって考えるきっかけになりました。子どもの特性や向き・不向きを、日常生活などの中で見極め、よいところを伸ばしてあげられるよう、見守っていきたいです。

やみくもに褒めるのではなく、具体的にプロセスを褒めることが大事だと理解できました。

褒め方については子どもが生まれてからずっと悩んでいたもので、1つの正解をもらえた感じがします。小学生の子どもにも当てはまり、たいへん勉強になりました。家族内で共有します。

園でも子どもたちの非認知的能力がしっかりと育つよう、子どもたちが主体的に考えて行動できる場面を多く設定し、褒める機会をより多く持ちたいと思います。

## 絵本 だいすき

### 『本の森探検』(安曇川図書館)

月組の子

どもたちは毎月、安曇川図書館に出かけて本を借ります。子どもたちはたくさんの本の中から読みたい本を選んで、借りる手続きをしていました。以前に国のある機関が調査されたことですが、読書活動によって非認知的能力が高くなるとのことでした。子どもたちの絵本への興味、是非、もち続けてほしいものです。



### 『本の森』の次はどこに行きたい？

### 『くつきの森』に行きたい

安曇川図書館『本の森』に行った次の日、保育者から子どもたちに「次はどこに行きたい？」と問いかけると、子どもたちからは「くつきの森に行きたい！」と返ってきたそうです。3月に去年の月組と一緒に朽木に行ったことや、去年の月組が朽木に行っていたことを聞いて覚えていたようです。



朽木へ遠足に行くことを設定してはいましたが、子どもたちの主体性や考える力を伸ばすための作戦です。「子どもたちの声を受けて朽木への遠足が実現した」としています。(これを読んだ方、子どもたちには内緒でお願いします。)朽木では生き物を捕まえたり、坂道を走ったりして楽しんでいました。

## 花まつり ～玉林寺～

花まつりを上小川の玉林寺で行っていただき、月組と星組の子どもたちがお参りました。「花まつり」は4月8日のお釈迦さまのご生誕をお祝いする行事で、玉林寺の住職である河合理事長から紙芝居「くもの糸」を聴き、お経を唱えて頂いている間、花御堂に置かれた誕生仏に甘茶をかけ、手を合わせて拝んでいました。



その後、甘茶を少しずついただき、多くの園児が「おいしい」と言っていました。

花まつりに際して青柳仏教会から全園児にお菓子と、お参りした子どもたちに散華とはがきをいただきました。

## サツマイモの苗植え

### ～地域支援事業～

地域支援事業の一つとして、地域の方(山本義雄さん、山本房栄さん、渡辺素江さん、中村悦子さん、淵田数枝さん)とさくらんぼ広場に来園の親子のみなさんでサツマイモの苗植えを行いました。さくらんぼ広場の子どもたちは散歩車で上小川の畑まで行き、5名の地域の方に植え方を教えてもらいながら1本ずつ植えていました。畑の準備などもして



いただきました地域の方たちにはお世話になりました。